



2020年9月29日

「ちばぎんSDGsフレンズローン」の取扱開始について
～「千葉・横浜パートナーシップ」連携施策～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、コンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行（頭取 大矢 恭好）との業務提携「千葉・横浜パートナーシップ」に基づく連携施策として、2020年10月1日（木）より、「ちばぎんSDGsフレンズローン」の取扱いを開始します。

本商品は、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）を自社の経営に活かしたいと考える事業者向けの融資制度で、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長 谷崎 勝教）とともに作成した独自の「SDGsチェックシート」により事業活動や経営課題とSDGsとを関連付け、可視化できる点が特長となっています。

また、本商品をご利用いただいたお客さまを「ちばぎんSDGsフレンズ」として当行ホームページなどで紹介し、SDGsへの関心が高い事業者の輪を広げていく活動につなげてまいります。

なお、本商品は横浜銀行と共同開発したもので、今後、地域におけるSDGsの推進に向け、両行で関連のセミナーなどを企画していく予定です。

商品の概要は下記のとおりです。

記

制 度 名	ちばぎんSDGsフレンズローン
融 資 対 象 者	SDGsに関心がある法人・個人事業主 ※「SDGsチェックシート」の作成を必須とします。
資 金 使 途	運転資金または設備資金
融 資 金 額	10百万円以上
融 資 期 間	1年以上
融 資 利 率	当行所定利率
担 保	原則、不要
保 証 人	必要に応じて徴求

以 上

ちばぎんSDGsフレンズについて

ちばぎんSDGsフレンズローンを利用されたお客さまを「ちばぎんSDGsフレンズ」として、SDGsに関連する情報などをお届けします。

● SDGsセミナーの開催

※開催時期や申込方法などの詳細は別途ご案内いたします。

ちばぎんSDGsフレンズを対象とした「SDGsセミナー」を開催します。自社の取り組みとSDGsのインパクトとのつながりが確認できれば、どのようにビジネスに活かしていけばいいかなどを、専門家がわかりやすくお話しします。

千葉銀行のSDGsへの取り組み

千葉銀行は、社会価値と経済価値の両立をめざし、事業活動を通じた社会課題の解決に向けた取り組みを進め、地域の持続的成長を支援してまいります。

金融リテラシー向上への取り組み

若年層の金融リテラシー向上に向けて、各種金融教育の取り組みを行っています。



高校生を対象とした「エコノミクス甲子園」千葉大会の開催、小中学生の職場体験の受け入れや出張授業のほか、千葉県金融の歴史がわかる「ちばぎん金融資料室」を開設しています。

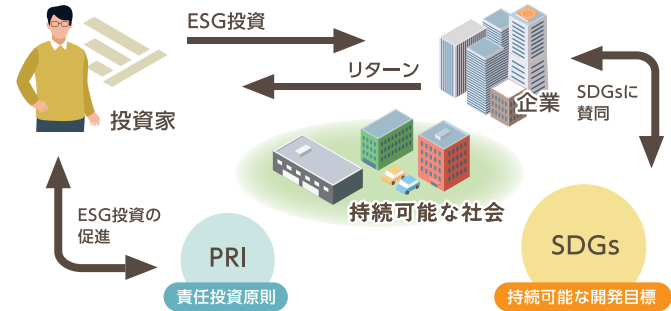


産業育成への取り組み

千葉銀行では、「ひまわりベンチャー育成基金」を通じて県内の経済人育成のため海外視察費用の助成を行っています。また、技術・商品開発ニーズのある企業と県内大学や工専との共同研究費用の助成を行う「ちばぎん研究開発助成制度」、将来の担い手となる学生を対象とした「ちばぎん学生版ビジネスアイデアコンテスト」を実施しています。



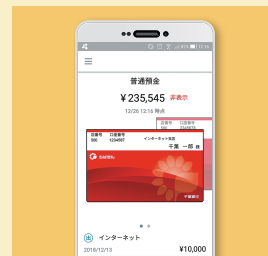
ESGファンドの取り扱い



2020年2月より、横浜銀行との「千葉・横浜パートナーシップ」に基づく提携施策として、ちばぎんアセットマネジメント(株)が設定する「ジャパンESGクオリティ200インデックスファンド(愛称:ESGナビ)」の取扱いを開始しました。ESG関連ファンドを通じ、ESGに対する個人投資家の理解促進と投資機会の創出を図っています。

通帳アプリ

紙の使用量削減に向けた取り組みの一環として、「通帳アプリ」を提供しています。通帳アプリは、紙通帳の代わりにお客さまのスマートフォンで登録口座の残高や入出金明細を照会できるアプリです。通帳アプリをご利用いただくことで記帳や繰越が不要になるほか、お通帳を紛失する心配もありません。



ちばぎんSDGsフレンズローンのご案内



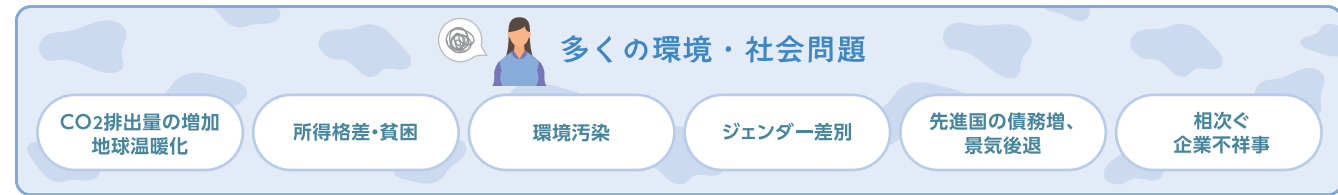
SDGsとは?

千葉銀行は、SDGsに取り組む地域のお客さまの未来を応援します

SDGs(エスディーゼーズ)とは、「**持続可能な開発目標**」のことで、2015年9月に国連で採択されました。「誰も置き去りにしない」世界の実現のために、**2030年に向けて達成する17項目のゴール**が設定されており、世界中で、SDGsの達成に向けた取り組みが進められています。

SDGsは新たなビジネスチャンス!

世界では多くの環境・社会問題が解決されていないまま残されています。わたし達は、SDGsへの取り組みを通じて、社会的課題の解決と持続可能な成長の両方をめざすことが求められています。



世界中で、SDGsの達成に向けた取り組みが進められています。

これからの経済モデル

社会的課題の解決と自社の持続可能な成長の両方をめざす SDGsの達成への取り組みは「新たなビジネスチャンス」になる!

飲食店の例

A店 食品廃棄物を飼料として地元の畜産農家に提供し、その飼料で飼養された豚肉を商品として販売する

B店 従来どおりの廃棄処理を行う

社会的課題の解決

エコなお店を選ぼう

地産地消

あ!人気のお店

エコな取り組みをしたほうがいいのかな...

でも、コストがかかる..

現状のまま

食品廃棄物が減らない..

A店は、環境に配慮してるのね

SDGsに取り組む

企業価値の向上

事業の持続的な発展

A店は環境に配慮

社会問題を解決 企業価値が向上

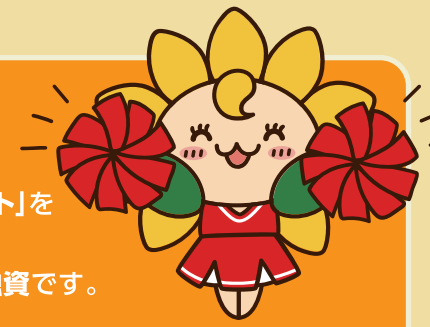
地産地消(地方創生)・事業の持続的な発展

SDGsの達成

千葉銀行と一緒にSDGsをはじめませんか?

SDGs達成に向けて、地域企業も主体的に取り組むことが期待されています。SDGsを達成するための「大胆な変革」を起こすために、まずは取り組みの優先課題(足りないこと)を見つけて、これまでのやり方にとらわれない柔軟な発想を活かすことも有効です。

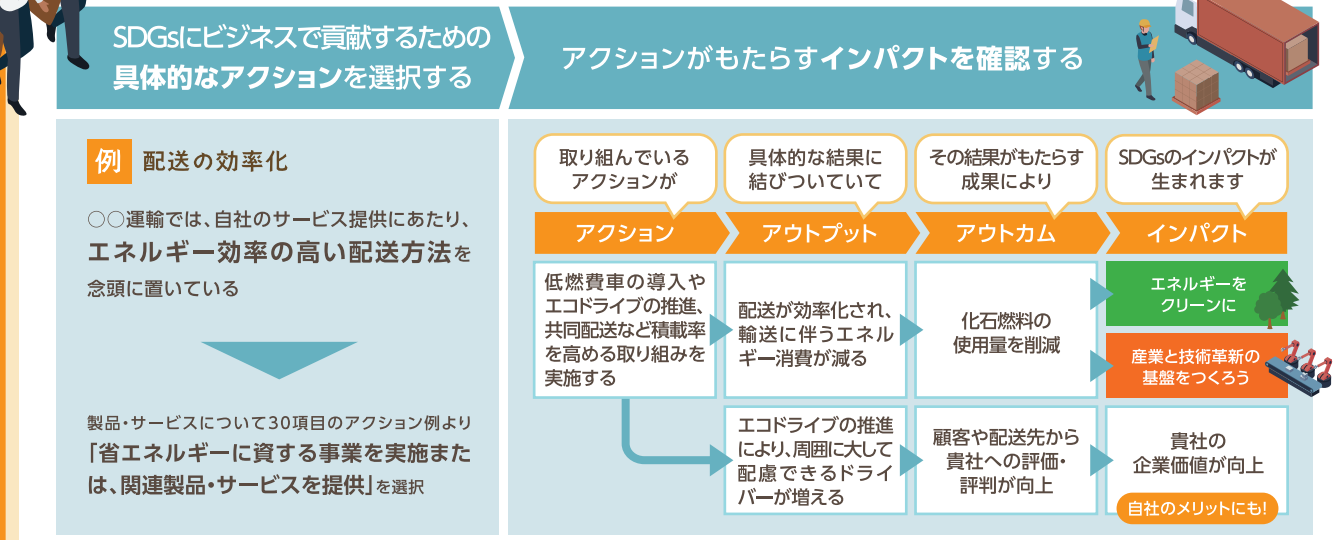
ちばぎんSDGsフレンズローンについて



ちばぎんSDGsフレンズローンは、お客さまと千葉銀行と一緒に「SDGsチェックシート」を作成して、お客さまの事業活動とSDGsの紐付けをおこなうことができます。そして、SDGsの「ゴール」に向けて新たな取り組みを始めるお客さまを応援する融資です。

SDGsチェックシートについて

質問に沿ってお客さまの事業活動を整理し、事業活動がSDGsのゴール・ターゲットとどのようにつながるかを示します。「今できていること」が確認できると、「まだできていないこと」「これから取り組みたいこと」を考えるきっかけになります。



今ある取り組みから、SDGsにつなげる~PDCAサイクルによるSDGsの取り組み手順~

「SDGsチェックシート」で、お客さまの事業活動とSDGsのゴール・ターゲットとのつながりを確認できたら、「大胆な変革」につながる新しい取り組みを検討・実施して、SDGsの達成に向けた取り組みをブラッシュアップしていきます。

